

# 中学部 国語科 「サイコロトークをしよう」

自分の事をみんなに言いたい。  
でも、ドキドキするなあ…。  
じょうずに書きたい！

友だちに、自分のことを自分の言葉で伝えたいと思える気持ちを膨らませたい！  
書ける自信を積み重ねてほしい！

## ①「テーマについて、話してみよう！」

・6つのトークテーマをサイコロのそれぞれに設定。サイコロをふり、出た目に応じて、教師や友だちの前で自分の言葉で話す活動に取り組みました。



### おすすめポイント

初めは好きな食べ物やスポーツなど伝えやすいテーマを設定し、繰り返し取り組む中で、考える必要があったり理由を添えたりするなど、飽きにつながらず、活動の手応えがもてるようテーマを変化させていきました。

### 子どもの反応

繰り返し取り組むことで、ドキドキしながらも自分の言葉で伝えられるように。難しい時は教師と一緒に考える場面も大切にしました。

#### ① サイコロトークをしよう

一番好きな季節の話とその理由	今、一番ほしい物の話
一番好きな給食メニューの話とその理由	最近の楽しかった、うれしかった話
得意なこと・苦手なことの話	好きなテレビ番組・好きなYoutubeの話
お休みの日の話	お休みの日の話
もしも、動物になったら…の話とその理由	もしも、動物になったら…の話
今、一番がんばっていることの話	昨日の夜ごはんの話

### 子どもの反応

友だちの話を聞いて、「聞きたいんやけど!」「〇〇ってどういうこと？」など、自ら質問する姿が増えました。



## ②「話したことを書いてみよう！」

・書くことを通して、自分が話した内容を振り返られるようにこの活動を設定しました。  
・生徒の話を聞きながら、アシストの教師は視写の見本となる文章を書きました。  
・見本の文章には、生徒の実態に応じて、漢字を織り交ぜながら活動への手応えにつなげられるようにしました。



### 子どもの反応

「ていねいに書かないと!」  
「この字、むずかしいなあ…。」  
「これってどうやって書くん?」

・書いた用紙を教師と一緒に振り返る中で、「できた」「がんばった」手応えにつなげられるように、生徒の頑張りを具体的な言葉で伝え、次への意欲や自信につなげられるようにしました。

